



# 学校だより

## ひさ たいけんがくしゅう 久しぶりの体験学習

こうちょう いしかわ ひでこ  
校長 石川 秀子

彼岸花の鮮やかな朱色が、季節の変わり目を伝えています。9月の連休は台風14号、15号の連続通過と重なり、各地に大きな被害がありました。皆様も、皆様のお知り合いもご無事でしたでしょうか。

晴天に恵まれた27日(火)5年生が愛川体験学習に出発して行きました。宿泊を伴う体験学習は実に3年ぶりの実施となります。29日(木)には4年生が上郷へそして10月17日(月)からは6年生の日光宿泊体験学習が予定されています。どの学年の児童にとっても初めての宿泊体験となります。当日、安全に楽しく実施できることはもちろんですが、事前学習も事後の振り返りも含めて学びと成長の機会にしていくよう取り組んでいきます。事前の健康観察や、持ち物等の準備、行事を前にした子どもたちへの励ましなど、保護者の皆様にはいつもご支援をいただき、ありがとうございます。

ある日、バス停で「あたりまえをとめるな」という大きなポスター広告を見つけました。神奈川県トラック協会のポスターです。「あたりまえじゃないことが起きても、あたりまえに届ける。」「『あたりまえ』を続けること。それが社会や時代を動かす原動力となり、人々の暮らしを豊かにしていく。」というトラックドライバーの皆さんのエッセンシャルワーカーとしての使命感と誇りを伝える言葉でした。(HPより)

感染症流行の影響により、私たちの生活の「あたりまえ」は大きく変化しました。新しく工夫を重ねて「あたりまえ」や「日常」をつくりだしていく毎日です。一人ひとりの誠実で地道な取り組みが「あたりまえ」をつくり、毎日の安心感につながっています。誰かの支えによって、毎日が成り立っていることのありがたさを、私もこの夏感じました。

私はこの夏、しばらくの間入院し治療を受けていました。足を動かすこと、起き上がることの難しさを感じる時期もありました。入院中痛感したのは、主治医をはじめ看護師の皆さんの、そして病院を支える多くの職員の皆さんのありがたさやすごさです。移動を支えてもらい、部屋を掃除してもらい、食事運んでもらい、見守り励ましていただきました。毎日が感謝の連続でした。

学校生活の中にも、お互いを支えあう基盤があります。あいさつや笑顔、呼びかけに応える声、協力するすがた、時間を守る自律心など改めて新鮮に感じられます。新型コロナウイルス感染症の第7波の峠は越えてきた様子ですが、引き続き丁寧な手洗い、密を避けての活動などの予防対策を当たり前につけ、気を緩めずに過ごしていきます。

学期末が近づき、行事も再開し始めるこの時期、「あたりまえ」を積み重ねて、そして感謝を忘れずに、安心安全な生活を作り上げていきたいと思えます。地域・保護者の皆様、今月もよろしく願いいたします。